

日整災害通信（第 1 報） ～被災地への道のり～

1月1日

令和6年1月1日 16:06 石川県能登半島を震源とする地震発生。

石川県はもとより北陸地域の広範囲に被害拡大の様子をみて、16:29 に森災害対策室員が全国に安否確認システム「トヨクモシステム」を通して初期情報収集を行った。

16:43 長尾会長発 災害対策室へ「災害対策本部」指示。

日整災害対策本部（以下、日災対本部）立ち上げ.構成員は長尾会長（本部長）、竹藤副会長（副本部長）、原澤室長、塩見、森、隈本各室員の6名。

この日は23:39まで各方面からの情報収集につとめる。

2日

昨日から本日夕方までの情報収集と整理、関係者との共有を図るため、明日午前9時からの Zoom 会議の開催案内を日整災対本部長、副本部長（日整正副会長）、災対室4名、北陸被災県会長と関係者。内容は現在までの情報共有を行う。

3日

zoom 会議開始

被害状況の確認と情報収集と共有を確認

石川県ニッ谷会長より、日整災対本部へ石川県情報、～第2報～送付された。まだ、52名の会員と連絡取れてない状況で、情報収集進み次第報告するとの事。

1月3日 16:00 現在

石川県会員数 289名

人的被害 0名

建物被害 31件

連絡取れず 52名

その他 14名（断水など）

4 日目

長尾本部長より、現地への善意の行為が結果的に迷惑をかけるとの情報あり、日整としては石川県医療調整本部はもとより医師会や各医療関係団体と情報を共有しながら行うことの指示を受ける。

また、塩見・森両室員を石川県県庁の医療調整本部に派遣し、情報収集・整理・発信、地元柔道整復師会と連携や支援にについて 1 月 6 日～8 日まで調査を行うことを決定。

5 日目

地元、石川県や福井県、富山県、新潟県などの会員安否確認継続中。岡山県医師会より岡山県柔道整復師会に JMAT 出動するための登録依頼がなされたとの事。

6 日目

塩見災対室室員、石川県西川副会長と合流し、県庁災害対策本部へ赴く。
23 時退庁。

7 日目

森災対室室員、塩見副室長と合流。石川県災害対策本部に出向している日本 DMAT 事務局次長の近藤先生から「柔整師会は被災地での活動及び、ニーズに合わせた対応や情報収集を積極的に行ってくれ。」とご指示を受けた。

以上、この 1 週間の災害対応では、今までにない早さで日整災対室が現地と協力しあって救護活動を行うべく、県庁医療調整本部や医師会等と連携の準備をしている最中である。

まずは自助を行い、それでも足りない時は要請に応じて、北信地区柔道整復師会との連携共助も含めて準備を進めているところです。

多くの会員から出動してはとの応援を頂戴しますが、今はどうか被災地を見守り頂きたく第一報の報告とさせて頂きます。

(文責 隈本圭吾)